

令和元年度
MICE総消費額等調査事業
報告書

令和2年3月
観光庁

1. 国際MICE総消費額の調査実施内容

①本事業の目的と背景

MICEにおいては、参加者による宿泊、交通、飲食等の消費に加え、主催者による企画運営や施設利用など多額の主催者消費額が発生する。このような多様な主体による消費活動が期待できるMICEは、開催地や日本全体に大きな経済波及効果をもたらしている。

そのため観光庁では、2016年度(平成28年度)「MICEの経済波及効果及び市場調査事業」、2017年度(平成29年度)「MICEの経済波及効果算出等事業」等の調査によって国内で開催されたMICE全体の経済波及効果を算出した。その分析は、2018年の「MICE国際競争力強化委員会 提言」策定に反映され、MICE関連訪日外国人消費相当額として「2020年3,000億円」「2030年8,000億円」を官民挙げて目指すべきMICE全体目標として設定し、MICEの誘致に取り組んでいるところである。

本事業は、そのMICE全体目標の指標となる国際MICEの総消費額を算出し、継続的に目標の達成度を把握するとともに、MICEの誘致・開催の必要性や意義を普及啓発するために、調査結果の周知・活用方法の検討を行うことを目的とするものである。

②国際MICEの定義

本調査事業における国際MICEの定義は下記の通りである。

種別	本調査における国際MICEの基準
企業会議【M】	参加者数10名以上（海外からの外国人参加者含む）、4時間以上の開催、外部の施設の利用
報奨・研修旅行【I】	参加者数10名以上、4時間以上の開催、外部の施設の利用・訪問、海外発日本着の催事
国際会議【C】	JNTO（日本政府観光局）の基準による国際会議を対象。JNTOによる国際会議の定義は、参加者総数50名以上、日本を含む3カ国以上が参加、1日以上開催期間の条件を満たした会議
展示会等【E】	日本展示会認証協議会（JECC）により国際展示会の認証（海外来場者数5%以上又は海外出展者数10%以上）を取得している展示会を対象。また、認証を取得していないものの同様の海外来場者・出展者数の基準を満たした展示会も対象

③一人当たりの消費額

2018年に開催された国際MICEによる総消費額の算出にあたり利用した「国際MICEによる一人当たり消費額」及び「展示会・見本市【E】による日・㎡当たり消費額」は、2016年度・2017年度MICEの経済波及効果算出等事業で利用した値と同じ値を活用した。

国際MICEによる一人当たり消費額

- 「2016年度（平成28年度）MICEの経済波及効果及び市場調査事業」にて算出された単価

	国際会議【C】							
	（三大都市医療）		（三大都市医療以外）		（その他都市医療）		（その他都市医療以外）	
	日本人	外国人	日本人	外国人	日本人	外国人	日本人	外国人
主催者	67,014円		56,084円		152,422円		103,931円	
参加者	52,933円	344,151円	34,085円	294,806円	78,327円	251,469円	74,536円	159,237円
出展者	12,356円		53,780円		3,752円		7,802円	

- 「2017年度（平成29年度）MICEの経済波及効果算出等事業」にて算出された単価

	企業会議【M】		報奨・研修旅行【I】	展示会・見本市【E】	
	日本人	外国人		日本人	外国人
主催者	183,428円		248,120円	8,881円	
参加者	0円	141,641円	71,600円	18,031円	237,606円
出展者	—		—	28,406円	

- 展示会・見本市【E】による日/㎡当たり消費額

	展示会・見本市【E】	
主催者	2,881円	(総展示面積換算)
出展者	26,293円	(総出展面積換算)

④調査対象

国際会議【M】及び報奨・研修旅行【I】の参加者数は、旅行業者に対してウェブアンケートにより把握した。国際会議【C】の参加者数は、JNTO国際会議統計により把握した。展示会・見本市【E】に関する諸項目は、主催者へ郵送によるアンケート及びウェブアンケートを実施した。

	対象	配布方法	配布数	回収数	有効回答数
企業会議【M】	<ul style="list-style-type: none"> ・ JATA会員 ・ OTOA会員 ・ 中連協会員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JATA会員及び中連協会員には、両協会からメールにてウェブアンケートのご案内を実施した ・ OTOA会員39社については、メルマガにてウェブアンケートのご案内を実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JATA会員1,590社 (1種:625社) ・ OTOA会員 (インバウンド) 39社 ・ 中連協会員 341社 	回収数 130件	114件 (前年73件)
報奨・研修旅行【I】				回収数 120件	119件 (前年61件)
展示会・見本市【E】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本展示会国際認証協議会より、「国際展示会」の認証を受けた展示会リスト ・ POP出版の「展示会データベース2020年度版」 ・ 日本展示会協会より、国際展示会に匹敵すると判断された展示会のリスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 催事の主催者に郵送にて案内文を送付、回答についてはウェブアンケートを実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認証展示会:21件 ・ 国際展示会に匹敵する展示会:41件 ・ その他: 79件 <p>合計141件</p>	回収数 67件	48件 (前年41件)

⑤調査方法（企業会議【M】の消費額算出方法）

企業会議【M】における算出計算式

	収集したデータ項目	算出方法
企業会議【M】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行者ごとの【M】の取扱い有無 ・ 「企業内会議」、「顧客セミナー」、「研修・視察」、「式典」、「その他」の5つの種類ごとの外国人・日本人参加者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回答旅行者ごとの【M】の取扱い有無及び「旅行者利用比率」の回答を通じて【M】全体の市場規模を推計し、5つの種類ごとの外国人・日本人参加者数を推計した ・ 【M】の総消費額は、主催者消費額と参加者消費額の合計とする ・ 主催者消費額は、日本人参加者数と外国人参加者数の合計に上記で推計した参加者数に1人当たりの主催者消費額を乗じることで算出した。参加者消費額は、上記で推計した外国人参加者数に外国人参加者1人当たりの消費額を乗じることで算出した

企業会議【M】5つの種類

		主たる参加者	
		社員、販売員、販売代理店、 サプライヤー	顧客
主たる目的	会議・商談	1 企業ミーティング	
	教育・研修・セミナー	2 研修視察 (報奨・研修旅行は含まない)	3 顧客セミナー
	交流・表彰・パーティー	4 式典	
	その他	5 その他	

⑤調査方法（企業会議【M】の消費額算出方法）

企業会議【M】における参加者数（日本人・外国人）の算出方法

$$\begin{array}{c} \text{アンケート} \\ \text{調査票から} \\ \text{集計した参加者数} \\ \text{(人)} \end{array} \times \frac{1}{\text{※1 旅行者} \\ \text{利用率 (\%)}} \times \frac{1}{\text{※2 観光庁調査対象} \\ \text{シェア (\%)}} = \text{市場全体の} \\ \text{参加者人数を推計} \\ \text{(人)}$$

- ※1 旅行者利用率：企業会議【M】は、主催企業が旅行者を利用する場合と利用しない場合が存在する。本事業では旅行者に対するアンケート調査により一般的に旅行者を利用する比率を把握し、旅行者利用率とした。
- ※2 観光庁調査対象シェア：観光庁が毎月公開している主要旅行者の外国人旅行取扱額を元に算出した、主要旅行者のうち本調査に回答した旅行者がもつ取扱額のシェアを、観光庁調査対象シェアとした。シェアで割り戻すことにより、主要旅行者で回答のなかった企業の取扱額も推計した。なお、観光庁調査対象企業については観光庁調査対象シェアを乗じるが、観光庁調査非対象企業からの回答については、観光庁調査対象シェアを乗じずに積算した。

企業会議【M】における消費額の算出方法

主催者消費額	日本人参加者および外国人参加者の合計人数 (人) \times ^{※3} 183,428円 = 主催者消費額 (円)
参加者消費額	外国人参加者の合計人数 (人) \times ^{※4} 141,641円 = 参加者消費額 (円)

1人 当たり	企業会議【M】	
	日本人	外国人
主催者	183,428円	
参加者	0円	141,641円

- ※3 主催者の消費額は、日本人、外国人ともに同額にて試算。
- ※4 日本人参加者の個人的な消費は極わずかであることが予想されるため0円として試算。

⑤調査方法（報奨・研修旅行【I】の消費額算出方法）

総消費額算出実施概要

	収集したデータ項目	算出方法
報奨・ 研修旅行 【I】	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行業者ごとの【I】の取扱い有無 ・【I】全体での外国人参加者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答旅行業者ごとの【I】の取扱い有無を通じて、【I】全体の市場規模と外国人参加者数を推計した ・上記で推計した参加者数に1人当たりの主催者及び参加者消費額を乗じることで、主催者及び参加者の総消費額を算出した

報奨・研修旅行【I】における参加者数（外国人）の算出方法

$$\begin{array}{l} \text{アンケート調査票} \\ \text{から集計した} \\ \text{外国人参加者数} \\ \text{(人)} \end{array} \times \frac{1}{\text{※1 観光庁調査対象} \\ \text{シェア (\%)}} = \text{市場全体の外国人参加者人数を推計 (人)}$$

※1 観光庁調査対象企業については観光庁調査対象シェアを乗じるが、観光庁調査非対象企業からの回答については、観光庁調査対象シェアを乗じずに積算した

報奨・研修旅行【I】における消費額の算出方法

$$\begin{array}{l} \text{アンケート調査票から} \\ \text{集計した外国人参加者数 (人)} \end{array} \times 248,120\text{円} = \text{主催者消費額 (円)}$$

$$\begin{array}{l} \text{アンケート調査票から} \\ \text{集計した外国人参加者数 (人)} \end{array} \times 71,600\text{円} = \text{参加者消費額 (円)}$$

1人 当たり	報奨・研修旅行【I】
主催者	248,120円
参加者	71,600円
出展者	—

⑤調査方法（国際会議【C】の消費額算出方法）

総消費額算出実施概要

	収集したデータ項目	算出方法
国際会議【C】	<ul style="list-style-type: none"> 医療系と医療系以外の分野ごとの外国人・日本人参加者数 三大都市圏と三大都市圏以外の開催地ごとの外国人・日本人参加者数 	<ul style="list-style-type: none"> JNTO国際会議統計により把握した分野ごと、開催地ごとにまとめた外国人・日本人参加者数に、1人当たりの参加者・主催者・出展者の消費額を乗じることで、参加者・主催者・出展者の総消費額を算出した

国際会議【C】における参加者数（日本人・外国人）の算出方法

$$\text{JNTO国際会議統計により把握した参加者数（人）} = \text{市場全体の参加者人数（人）}$$

国際会議【C】における消費額の算出方法（下記a～hは、表に該当する各参加者数）

$$\text{主催者消費額} = (a+b) \times 67,014 \text{円} + (c+d) \times 56,084 \text{円} + (e+f) \times 152,422 \text{円} + (g+h) \times 109,931 \text{円} = \text{主催者消費額（円）}$$

$$\text{参加者消費額} = (a \times 52,933 \text{円}) + (b \times 344,151 \text{円}) + (c \times 34,085 \text{円}) + (d \times 294,806 \text{円}) + (e \times 78,327 \text{円}) + (f \times 251,469 \text{円}) + (g \times 74,536 \text{円}) + (h \times 159,237 \text{円}) = \text{参加者消費額（円）}$$

$$\text{出展者消費額} = (a+b) \times 12,356 \text{円} + (c+d) \times 53,780 \text{円} + (e+f) \times 3,752 \text{円} + (g+h) \times 7,802 \text{円} = \text{出展者消費額（円）}$$

1人 当たり	国際会議【C】							
	（三大都市医療）		（三大都市医療以外）		（その他都市医療）		（その他都市医療以外）	
	a.日本人	b.外国人	c.日本人	d.外国人	e.日本人	f.外国人	g.日本人	h.外国人
主催者	67,014円		56,084円		152,422円		103,931円	
参加者	52,933円	344,151円	34,085円	294,806円	78,327円	251,469円	74,536円	159,237円
出展者	12,356円		53,780円		3,752円		7,802円	

⑤調査方法（展示会・見本市【E】の消費額算出方法）

総消費額算出実施概要

	収集したデータ項目	算出方法
展示会・見本市【E】	<ul style="list-style-type: none"> 国際展示会の定義に合致する【E】 上記【E】の外国人・日本人参加者数及び展示会場総面積・総出展面積 	<ul style="list-style-type: none"> 国際展示会の定義に合致する【E】の外国人・日本人参加者数に参加者1人あたり消費額を乗じることで、参加者の総消費額を算出した 展示会場総面積及び総出展面積に、主催者及び出展者の面積当たりの消費額を乗じることで、主催者及び出展者の総消費額を算出した

展示会・見本市【E】における参加者数の算出方法

アンケート調査票から集計した参加者数（人） = 市場全体の参加者人数

展示会・見本市【E】における消費額の算出方法

主催者消費額	アンケート調査票から集計した展示会場総面積（日・㎡）	X 2,881円	=	主催者消費額（円）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日/㎡当たり</th> <th>展示会・見本市【E】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主催者</td> <td>2,881円</td> </tr> <tr> <td>出展者</td> <td>26,293円</td> </tr> </tbody> </table>	日/㎡当たり	展示会・見本市【E】	主催者	2,881円	出展者	26,293円							
日/㎡当たり	展示会・見本市【E】																	
主催者	2,881円																	
出展者	26,293円																	
参加者消費額	アンケート調査票から集計した日本人参加者数（人） アンケート調査票から集計した外国人参加者数（人）	X 18,031円 + X 237,606円	=	参加者消費額（円）														
出展者消費額	アンケート調査票から集計した総出展面積（日・㎡）	X 26,293円 =	出展者消費額（円）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1人当たり</th> <th colspan="2">展示会・見本市【E】</th> </tr> <tr> <th>日本人</th> <th>外国人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主催者</td> <td>8,881円 ※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>18,031円</td> <td>237,606円</td> </tr> <tr> <td>出展者</td> <td colspan="2">28,406円 ※</td> </tr> </tbody> </table>	1人当たり	展示会・見本市【E】		日本人	外国人	主催者	8,881円 ※		参加者	18,031円	237,606円	出展者	28,406円 ※	
1人当たり	展示会・見本市【E】																	
	日本人	外国人																
主催者	8,881円 ※																	
参加者	18,031円	237,606円																
出展者	28,406円 ※																	

※ 主催者消費額及び出展者消費額は、日・㎡当たりの単価を用い、面積に応じた消費額を算出した。

2. 国際MICE総消費額の算出結果

①総消費額の分析結果：国際MICEによる総消費額

2016-2018年国際MICEによる総消費額

年	企業会議 【M】	報奨・研修旅行 【I】	国際会議 【C】	展示会・見本市 【E】	計
2018年	約2,696.2億円	約498.2億円	約3,388.2億円	約1,614.4億円	約8,197.0億円
2017年	約1,861.6億円	約391.8億円	約3,211.2億円	約1,547.0億円	約7,011.6億円
2016年	約774.9億円	約347.8億円	約3,445.3億円	約816.2億円	約5,384.2億円

※合計消費額は端数処理（四捨五入）により各項目の合計と一致しない

- ・ 2018年の国際MICEによる総消費額は2016年比で152%となり、この3年間着実に拡大している。
- ・ 企業会議【M】、報奨・研修旅行【I】、展示会・見本市【E】の3分野で3年連続増加した。
- ・ 2016年からの増加率は企業会議【M】が348%で最も大きく、報奨・研修旅行【I】143%、展示会・見本市【E】198%となった。
- ・ 3年を通じ最も総消費額が大きいカテゴリーは国際会議【C】だった。

②総消費額の分析結果：企業会議【M】－1

企業会議【M】の消費額（2016-2018年）

年	主催者消費額	参加者消費額	計
2018年	約2,257.7億円	約438.5億円	約2,696.2億円
2017年	約1,397.6億円	約464.0億円	約1,861.6億円
2016年	約520.0億円	約254.9億円	約774.9億円

- ・企業会議【M】の消費額は、2018年は約2,696.2億円と2017年比で145%、2016年比で348%となった。
- ・2018年の参加者消費額は2017年比で95%、2016年比では172%となった。
- ・2017年と比較した参加者消費額の減少は、消費単価が高い外国人参加者数が32.8万人から31.0万人に減少したことによるものである。一方、日本人参加者数は大きく増加し、主催者消費額の伸長に寄与した。
- ・企業会議【M】における日本人参加者の個人的な消費は極わずかであることが予想されるため0円にて試算している。

②総消費額の分析結果：企業会議【M】－2

企業会議【M】の参加者数の推計結果（2016-2018年）

企業会議種類	年	日本人	外国人	計
企業内会議	2018年	186,737人	110,924人	297,660人
	2017年	112,647人	116,801人	229,449人
	2016年	56,024人	90,639人	146,663人
顧客セミナー	2018年	537,976人	79,308人	617,283人
	2017年	53,799人	118,404人	172,204人
	2016年	21,462人	15,847人	37,309人
研修・視察	2018年	115,866人	101,826人	217,693人
	2017年	235,165人	72,978人	308,144人
	2016年	10,679人	57,876人	68,555人
式典	2018年	80,648人	17,546人	98,194人
	2017年	32,789人	19,377人	52,166人
	2016年	15,390人	15,584人	30,974人
計	2018年	921,227人	309,604人	1,230,830
	2017年	434,401人	327,561人	761,961人
	2016年	103,555人	179,946人	283,501人

※合計人数は端数処理（四捨五入）により各項目の合計と一致しない

- ・2018年に開催した企業会議【M】への参加者数は、2016年比434%となった。
- ・日本人参加者は2016年比約82万人増（890%）、外国人参加者は2016年比約13万人増（172%）と大幅な伸長を見せた。
- ・2017年と比較すると、外国人参加者数は95%、日本人参加者は212%、全体では162%となった。
- ・今回の調査において、企業会議種類「その他」で回答があった案件はすべて【M】に当てはまらなかったため、「その他」はゼロとみなす。

②総消費額の分析結果：企業会議【M】－3

企業会議【M】の消費額（2016-2018年）

企業会議種類	年	主催者消費額	参加者消費額	計
企業内会議	2018年	約546.0億円	約157.1億円	約703.1億円
	2017年	約420.9億円	約165.4億円	約586.3億円
	2016年	約300.3億円	約128.4億円	約428.7億円
顧客セミナー	2018年	約1,132.3億円	約112.3億円	約1,244.6億円
	2017年	約315.9億円	約167.7億円	約483.6億円
	2016年	約48.9億円	約22.4億円	約71.3億円
研修・視察	2018年	約399.3億円	約144.2億円	約543.5億円
	2017年	約565.2億円	約103.4億円	約668.6億円
	2016年	約145.8億円	約82.0億円	約220.9億円
式典	2018年	約180.1億円	約24.9億円	約205.0億円
	2017年	約95.7億円	約27.4億円	約123.1億円
	2016年	約31.9億円	約22.1億円	約54.0億円
計	2018年	約2,257.7億円	約438.5億円	約2,696.2億円
	2017年	約1,397.6億円	約464.0億円	約1,861.6億円
	2016年	約520.0億円	約254.9億円	約774.9億円

※合計消費額は端数処理（四捨五入）により各項目の合計と一致しない

③総消費額の分析結果：報奨・研修旅行【I】－1

報奨・研修旅行【I】の消費額（2016-2018年）

年	主催者消費額	参加者消費額	消費額計
2018年	約386.6億円	約111.6億円	約498.2億円
2017年	約304.1億円	約87.7億円	約391.8億円
2016年	約269.9億円	約77.9億円	約347.8億円

- ・ 2018年報奨・研修旅行【I】の消費額は約498億円で、2016年比143%、2017年比127%となった。

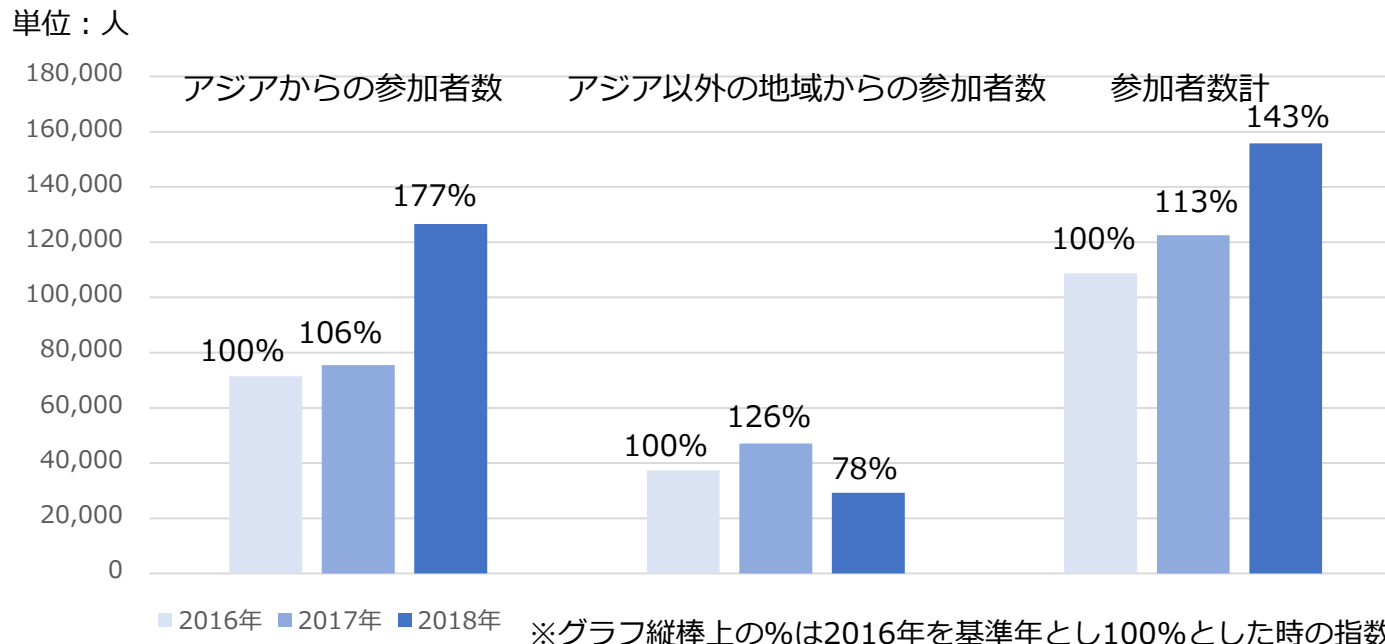
③総消費額の分析結果：報奨・研修旅行【I】 - 2

報奨・研修旅行【I】の参加者数の推計結果（2016-2018年）

年	アジアからの参加者数	アジア以外の地域からの参加者数	参加者数計
2018年	126,560人	29,258人	155,818人
2017年	75,485人	47,070人	122,555人
2016年	71,423人	37,365人	108,788人

- ・報奨・研修旅行【I】の参加者は、定義より全て外国人参加者数としてカウントしている。
- ・アジアからの参加者数は、2016年比約77%、2017年比約68%増加した。

報奨・研修旅行【I】の参加者数の推計結果（2016-2018年）



④ 総消費額の分析結果：国際会議【C】 - 1

国際会議【C】の消費額（2015-2018年）

年	主催者消費額	参加者消費額		出展者消費額	計	開催件数
		日本人	外国人			
2018年	約1,490.3億円	約879.8億円	約557.8億円	約460.3億円	約3,388.2億円	3,433件
2017年	約1,451.8億円	約846.3億円	約490.1億円	約423.1億円	約3,211.2億円	3,313件
2016年	約1,496.0億円	約876.1億円	約575.4億円	約497.8億円	約3,445.3億円	3,112件
2015年	約1,284.7億円	約880.1億円	約461.6億円	約672.8億円	約3,299.2億円	2,847件

※合計消費額は端数処理（四捨五入）により各項目の合計と一致しない

- ・ 2018年国際会議【C】の消費額は約3,388億円と、前年比106%となった。
- ・ 国際会議【C】の消費額は、年によって増減があるが、総体では微増の傾向となっている。
- ・ 外国人参加者消費額は2015年比121%となり、国際会議【C】の消費額伸長に最も寄与している。
- ・ いずれの項目も前年に比べ増加しているが、日本人参加者消費額と出展者消費額は2015年の水準に届いていない。

④ 総消費額の分析結果：国際会議【C】 - 2

国際会議【C】の開催件数（2016-2018年）

年	三大都市圏		その他都市		計
	医療	医療以外	医療	医療以外	
2018年	484件	1,806件	218件	925件	3,433件
2017年	370件	1,790件	219件	934件	3,313件
2016年	388件	1,582件	192件	959件	3,121件

- ・三大都市圏では、2018年の医療系会議の開催件数が2017年比131%となった。

国際会議【C】の地域・分野別消費額（2016-2018年）

年	三大都市圏		その他都市		計
	医療	医療以外	医療	医療以外	
2018年	約925.3億円	約1,225.3億円	約588.2億円	約649.5億円	約3,388.2億円
2017年	約784.2億円	約1,108.4億円	約686.6億円	約632.0億円	約3,211.2億円
2016年	約827.2億円	約1,342.3億円	約541.0億円	約734.7億円	約3,445.3億円

④ 総消費額の分析結果：国際会議【C】 - 3

国際会議【C】の参加者数（2015-2018年）

参加者	年	三大都市圏		その他都市		計
		医療	医療以外	医療	医療以外	
日本人	2018年	587,493人	537,070人	235,797人	269,737人	1,630,097人
	2017年	492,630人	507,131人	277,229人	262,289人	1,539,279人
	2016年	495,615人	623,386人	216,962人	310,417人	1,646,380人
	2015年	561,051人	516,750人	208,479人	305,485人	1,591,765人
外国人	2018年	34,944人	111,747人	8,642人	54,264人	209,597人
	2017年	31,273人	93,493人	8,973人	52,909人	186,648人
	2016年	40,517人	109,933人	7,924人	57,752人	216,126人
	2015年	24,268人	86,978人	10,744人	53,043人	175,033人
計	2018年	622,437人	648,817人	244,439人	324,001人	1,839,694人
	2017年	523,903人	600,624人	286,202人	315,198人	1,725,927人
	2016年	536,132人	733,319人	224,886人	368,169人	1,862,506人
	2015年	585,319人	603,728人	219,223人	358,528人	1,766,798人

- ・ 2016年は2015年に比べ、国際会議【C】による消費額は大きく増加したが、その要因は、三大都市圏における医療分野での国際会議【C】に参加した外国人の数が大きく増加したことにある。
- ・ 2017年の国際会議【C】の参加者数が、2016年から減少した大きな要因は、三大都市圏で開催された医療以外の分野で開催された国際会議【C】の参加者数の減少である。
- ・ 国際会議【C】の消費額のうち、日本人参加者による消費額が2015年以降2年連続で減少したのは、三大都市圏における医療分野での国際会議【C】に参加した日本人の数が2年連続で減少していることが一因である。
- ・ 2018年は2017年に比べ、三大都市圏以外で開催された医療分野での国際会議【C】の参加者数が、日本人・外国人ともに減少しており、日本人の減少率は約15%にもものぼっている。

④参考資料：国際会議【C】

・主催者の消費額

	年	三大都市圏	その他の都市	計
医療	2018年	約417.1億円	約372.6億円	約789.7億円
	2017年	約351.1億円	約436.2億円	約787.3億円
	2016年	約359.3億円	約342.8億円	約702.1億円
医療以外	2018年	約363.9億円	約336.7億円	約700.6億円
	2017年	約336.9億円	約327.6億円	約664.4億円
	2016年	約411.3億円	約382.6億円	約793.9億円
計	2018年	約781.0億円	約709.3億円	約1,490.3億円
	2017年	約687.9億円	約763.8億円	約1,451.8億円
	2016年	約770.6億円	約725.4億円	約1,496.0億円

・参加者（日本人）の消費額

	年	三大都市圏	その他の都市	計
医療	2018年	約311.0億円	約184.7億円	約495.7億円
	2017年	約260.8億円	約217.1億円	約477.9億円
	2016年	約262.3億円	約169.9億円	約432.3億円
医療以外	2018年	約183.1億円	約201.1億円	約384.1億円
	2017年	約172.9億円	約195.5億円	約368.4億円
	2016年	約212.5億円	約231.4億円	約443.9億円
計	2018年	約494.0億円	約385.7億円	約879.8億円
	2017年	約433.6億円	約412.6億円	約846.3億円
	2016年	約474.8億円	約401.3億円	約876.1億円

・出展者の消費額

	年	三大都市圏	その他の都市	計
医療	2018年	約76.9億円	約9.2億円	約86.1億円
	2017年	約64.7億円	約10.7億円	約75.5億円
	2016年	約66.2億円	約8.4億円	約74.7億円
医療以外	2018年	約348.9億円	約25.3億円	約374.2億円
	2017年	約323.0億円	約24.6億円	約347.6億円
	2016年	約394.4億円	約28.7億円	約423.1億円
計	2018年	約425.8億円	約34.4億円	約460.3億円
	2017年	約387.7億円	約35.3億円	約423.1億円
	2016年	約460.6億円	約37.2億円	約497.8億円

・参加者（外国人）の消費額

	年	三大都市圏	その他の都市	計
医療	2018年	約120.3億円	約21.7億円	約142.0億円
	2017年	約107.6億円	約22.6億円	約130.2億円
	2016年	約139.4億円	約19.9億円	約159.4億円
医療以外	2018年	約329.4億円	約86.4億円	約415.8億円
	2017年	約275.6億円	約84.3億円	約359.9億円
	2016年	約324.1億円	約92.0億円	約416.1億円
計	2018年	約449.7億円	約108.1億円	約557.8億円
	2017年	約383.2億円	約106.8億円	約490.1億円
	2016年	約463.5億円	約111.9億円	約575.4億円

※合計消費額は端数処理（四捨五入）により各項目の合計と一致しない

⑤総消費額の分析結果：展示会・見本市【E】 - 1

展示会・見本市【E】の消費額（2016-2018年）

年	主催者消費額	参加者消費額		出展者消費額	計	集計対象開催件数
		日本人	外国人			
2018年	約192.0億円	約455.1億円	約333.2億円	約634.0億円	約1,614.4億円	48件
2017年	約176.5億円	約508.4億円	約253.0億円	約609.0億円	約1,547.0億円	41件
2016年	約108.6億円	約209.0億円	約151.2億円	約347.4億円	約816.2億円	23件

※合計消費額は端数処理（四捨五入）により各項目の合計と一致しない

- ・2018年、展示会・見本市【E】は約1,614億円であり、2016年比198%と大きく増加した。集計対象となる「国際展示会」が2016年の23件から2018年の48件と大幅に増えたことに伴うものと推測する。
- ・日本人参加者消費額を除く全ての項目で消費額が伸長していることが、総計を押し上げている。

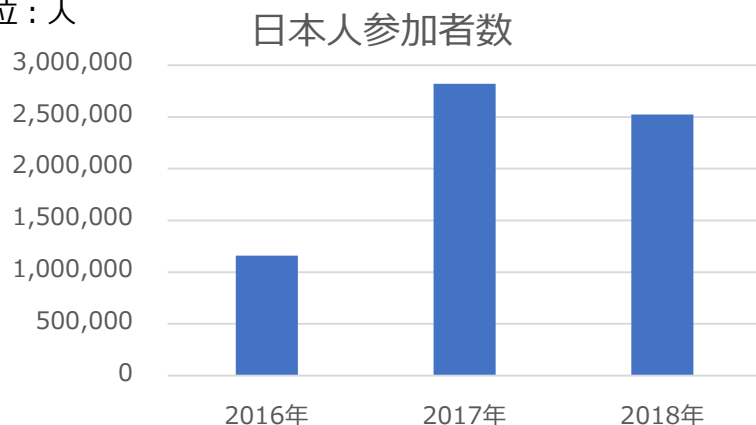
⑤総消費額の分析結果：展示会・見本市【E】 - 2

展示会・見本市【E】の参加者数（2016-2018年）

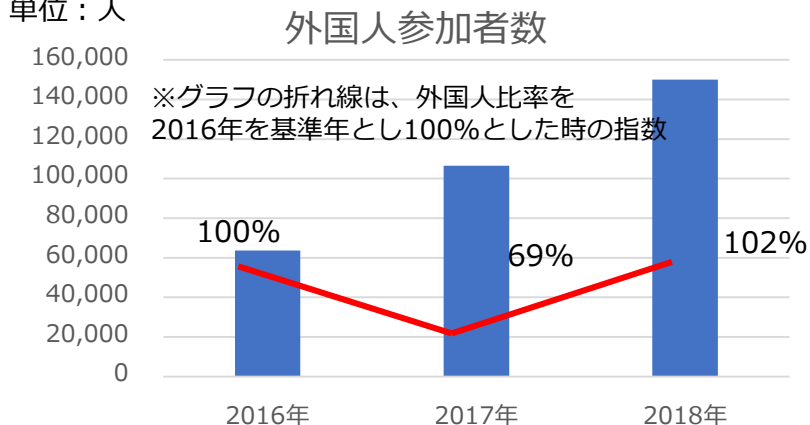
年	日本人参加者数	外国人参加者数（外国人比率）	総参加者数
2018年	2,524,212人	140,228人（5.3%）	2,664,440人
2017年	2,819,772人	106,498人（3.6%）	2,926,270人
2016年	1,159,243人	63,639人（5.2%）	1,222,882人

展示会・見本市【E】の参加者数の推移（2016-2018年）

単位：人



単位：人



- ・展示会・見本市【E】における2016年－2018年の参加者数は、日本人、外国人ともに国際展示会の定義に合致する案件が大幅に増えたための増加となった。
- ・総参加者数に対する外国人参加者の比率は、年によってばらつきが見られる。
- ・2017年にモーターショー（約77万人）が開催されたが、隔年開催のため2016年、2018年の数字には反映されていないことを考慮すると、2018年の参加者数増は健闘の結果と評価

⑥ 総消費額の分析結果：外国人参加者数の推移と消費額について

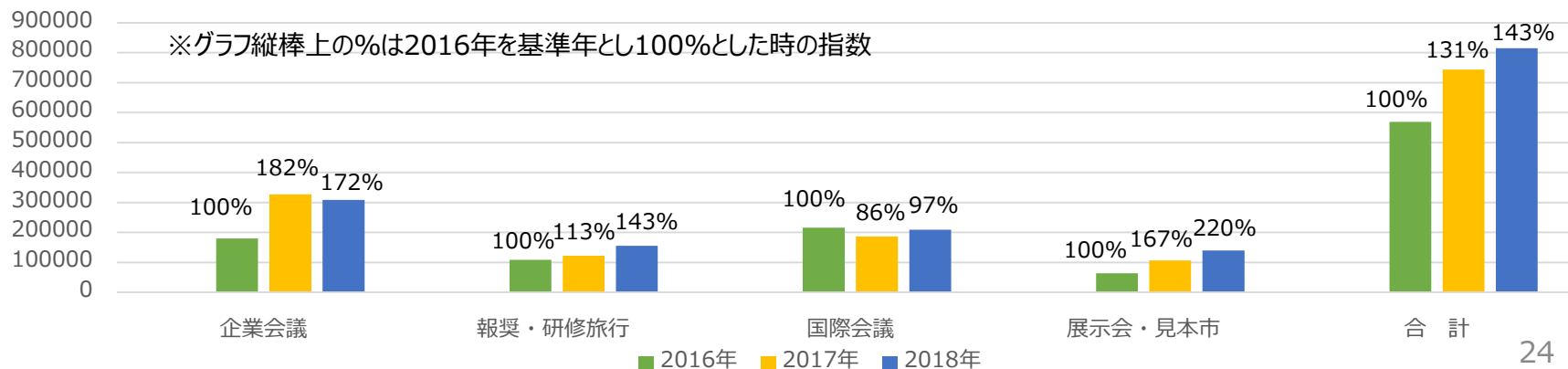
国際MICE 外国人参加者推移（2016-2018年）

年	企業会議 【M】	報奨・研修旅行 【I】	国際会議 【C】	展示会・見本市 【E】	計
2018年	309,604人	155,818人	209,597人	140,228人	815,247人
2017年	327,561人	122,555人	186,648人	106,498人	743,262人
2016年	179,946人	108,788人	216,126人	63,639人	568,499人

- ・全体では、外国人参加者は2016年比約24.7万人増(2016年比143%)と大幅な伸長を見せた。
- ・企業会議【M】は、2018年は2017年に比べ微減、2016年比では172%と増加している。
- ・報奨・研修旅行【I】は、毎年増加し2016年比では143%となっている。
- ・国際会議【C】は、年によってばらつきがある。
- ・展示会・見本市【E】は、国際展示会の増加および回答数の向上により、2016年比220%となった。

単位：人

国際MICE 外国人参加者推移（2016-2018年）



⑥ 総消費額の分析結果：外国人参加者数の推移と消費額について

国際MICE 外国人消費額推移（2016-2018年）

年	企業会議 【M】	報奨・研修旅行 【I】	国際会議 【C】	展示会・見本市 【E】	計
2018年	約988.4億円	約312.9億円	約558.6億円	約258.0億円	約2,117.7億円
2017年	約1,045.7億円	約246.1億円	約497.4億円	約195.9億円	約1,985.1億円
2016年	約574.5億円	約218.4億円	約576.0億円	約117.1億円	約1,486.0億円

※外国人消費額については、国際交通費を除く外国人参加者1名当たりの総消費額を用いて算出

- ・全体では、外国人消費額は2016年比631.7億円増(2016年比143%)と大幅な伸長を見せた。
- ・企業会議【M】は、2018年は2017年比で微減したが、2016年比では172%と増加している。報奨・研修旅行【I】は、毎年増加し2016年比では143%となっている。国際会議【C】は、年によってばらつきがある。展示会・見本市【E】は、国際展示会の増加および回答数の向上により、2016年比220%となった。

